

# 鎌ヶ谷市総合戦略等検討委員会 第3回会議 会議録

日 時 平成27年11月17日(火) 14時～15時30分  
場 所 鎌ヶ谷市役所6階 第1・2委員会室  
出席委員 菅野勝利委員、小島太朗委員、久能剛一委員、布施高広委員、  
(敬称略) 秋山秀一委員、倉島哲也委員、篠塚紀子委員、榎本美紅委員、  
山田圭子委員、片桐博子委員  
欠席委員 松林百合子委員、足立達昭委員、駒林康一委員、坂元晋二委員  
市出席者 山崎総務企画部次長、渡邊市民生活部次長、斉藤健康福祉部次長、  
鎗田都市建設部次長、柴田生涯学習部次長、鈴木消防本部次長、  
狩谷企画財政課長  
事務局 大塚企画政策室長、高橋企画政策室主査、小暮企画政策室主任主事  
(受託事業者) 株式会社日本能率協会総合研究所  
記 録 小暮  
傍 聴 者 2名

## 1 会議録署名人の選出について

会議録署名人は、委員名簿順に久能委員、片桐委員と決定した。

## 2 (1)「鎌ヶ谷市人口ビジョン(修正案)」について

### (2)「鎌ヶ谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略(修正案)」について

(秋山委員長)

第2回の会議で委員の皆さんから出た意見について、資料1に基づいて、市から説明があるので、その後、この内容に関して、意見を伺いたいと考えている。

それでは、市から説明をお願いします。

(市)

～資料1に基づいて、各部次長から説明～

(秋山委員長)

ただいま市から、資料1に基づきそれぞれ説明があったが、何かご意見、ご質問があれば、お願いしたい。

(布施委員)

意見及び質問として3点ある。

1点目は、県と東葛飾地域6市、新京成電鉄や北総鉄道等と協力して実施したスタンプラリーのアンケート結果からである。これは東葛飾地域のスポットを鉄道等で巡るスタンプラリーだが、そのアンケート結果の中で、訪れて良かった施設として第2位に鎌ヶ谷市市制記念公園が挙げられていた。この公園は子どもを連れて遊ぶところとしては非常に良い場所である。こうしたところをもっとPRして行って

はどうか。

2点目は、鎌ヶ谷市の強みとして、鎌ヶ谷市は多くの鉄道路線が乗り入れ、都心へのアクセスが良く、それに比べてまだ土地の値段が安いことがある。どこに住むかの判断基準として各市がどのような行政サービスを提供しているかも重要であるが、通勤時間と住宅価格のバランスも大きな判断基準となる。そうしたことももっとPRしていけるのではないか。

3点目は質問であるが、病児保育について、鎌ヶ谷市の実施状況・予定について、お伺いしたい。

(秋山委員長)

今のお話しは、市だけではなかなか気付かないことかと思う。

実施して初めて分かることもある。

船橋市にあるアンデルセン公園は、今とても人気が出ているが、このようにPRできると良い。

(山崎総務企画部参事)

市制記念公園については、遊ぶ場所のほか、桜の名所として人気があるところである。

この桜について、今年度から新鎌ヶ谷駅から市制記念公園までの区域を桜ゾーンとして、桜の植樹を実施し、よりPRを図っていきたいと考えている。

(秋山委員長)

市内の周遊は、とても大事なことである。

市制記念公園は、散歩もできるし、展望台に登れば、スカイアクセスなどの鉄道も見るができるなど、リピーターもとても多い。

今あるものを、どんどん活かしてPRできると良い。

病児保育については、いかがか。

(斉藤健康福祉部次長)

病後児保育については、鎌ヶ谷総合病院で実施しているところであるが、病児保育についても、保護者から要望が寄せられているところである。

これを受け本市では、病児保育整備事業についても、今後実施していく予定であり、総合戦略の21頁（「就学前の子どもに関する教育・保育サービスの充実」）に位置付けている。

(秋山委員長)

次に、NO.3についてであるが、このご意見は、前回の会議で榎本委員からご意見があったかと思う。これに対して、改めて市から、現在の救急医療の状況の説明があったが、これについて、本日は現役の医師として片桐委員が参加されているので、現在の状況について、ご意見があればお聞きしたいが、いかがか。

(片桐委員)

夜間・休日診療については、もともと船橋市と鎌ヶ谷市の医師会で協力して実施していた。その後、鎌ヶ谷総合病院が開院するので、鎌ヶ谷市が手を引いた経緯が

あるが、現状は、できていない。

千葉西総合病院といっても、場所も遠く、よく分からない人も多い。

鎌ヶ谷総合病院が実施できるようになれば良いが、5～6人の医師が必要であり、いつできるのかと思っている。

お母さん方の意見については、きちんと要望を持っていくのが良い。

ここからは、私の意見であるが、先ほど、鎌ヶ谷市はコンパクトな街であると説明があったが、鎌ヶ谷市は意外と広いと思っている。

私は、馬込沢に住んでいるが、周りは船橋市であり、隣の家では、ヘルメットをかぶって、自転車で中学校に通っている。

鎌ヶ谷市は周りが大きな市に囲まれているので、防災では、周りの市と協力して取り組んでほしいと思っている。災害が起きた時、指定された遠い避難場所には、なかなか行くことは難しい。

医療についても、やりきれないことも多いので、周りの市と融通し合って、様々なことを模索しながら、協力してやって欲しい。

(山崎総務企画部参事)

広域行政については、とても重要であると認識しており、後期基本計画においても、位置付けられている。

本市では、東葛、葛南地域など、部門によって、協力している自治体の組み方が異なるが、分野に限らず、周りの市と協力しながら、取り組んでいきたい。

(渡邊市民生活部次長)

防災については、近隣市と連携を図るため、災害協定を結んでいる。

例えば、災害が起こった時、遠い指定避難場所ではなく、一時避難場所として、隣の市で近くの避難場所に避難できるようにしたものである。

災害が起きた時は、その地域の特性を見て、避難していただきたいと考えている。

(秋山委員長)

防災の時は、現状を踏まえて、自主的に意識して行動することが大事であるかと思う。

片桐委員の話聞いて、榎本委員は何か意見はあるか。

(榎本委員)

今お話を聞いて、もともと船橋市と協力して実施していたが、手を引いた経緯があったことは、知らなかった。

その中で、今後は、鎌ヶ谷総合病院に実施してもらうわけだが、いつになったら実現されるのかが不透明であり、その間は空白期間となってしまう。

船橋市や市川市などと連携して、日頃から考えて取り組んでいく必要があると感じた。

(菅野委員)

NO. 5とNO. 10の防災・防犯についてであるが、災害は日本全国どこで発生するか分からない。

その中で、鎌ケ谷市では、揺れにくい地域であるが、これをもっとPRできる何かが無いのかと思う。

例えば、“ゆれにくい”をPRするのではなく、“ゆれにくい”という数値があれば、他の市との違いをPRしていければ良い。

また、先ほど避難場所について話があったが、私が住む馬込沢地区では、避難場所として、隣の自治体と隣接している地区は、船橋市も避難所となっていたと思うが、市民に伝わっていない。

せっかくそのような取組みを実施しているのに、広報を見ても、市内のことしか掲載されておらず、隣の市が避難場所として指定されていることが載っていない。

確か、本来は南部小学校が避難場所として指定されているが、船橋市法田中学校や法典東小学校に避難する地域の人も多いと思う。

それから、以前校長先生や教頭先生と話す機会があったが、備蓄倉庫にある発電機の使い方について、分からないという先生が多かった。今は改善されているかと思うが、物が置いてあるだけでなく、その使い方も指導できるようにならないとダメである。

犯罪について、鎌ケ谷警察と話をした時、千葉県や鎌ケ谷市の犯罪率は減少しているとのことであった。パトロールは、今は全国的に実施しており、魅力的な事業ではなくなっているので、今後はよりきめ細かな方法も実施できると良い。

自治会のパトロールを実施する時に、いつも話していることは、実施することで我々自身の防災に対する意識を高めること、また、実施することを見てもらうこと、このことが、市民一人一人が戸締りなどの意識を持っていくことに繋がってくるのだと思う。

(秋山委員長)

意識を持って、実施することはとても大事なことである。

取組みのPRとしては、常日頃からさまざまな情報を発信している千葉日報社の篠塚委員からは、何か意見あるか。

(篠塚委員)

NO.4については、前回の会議で私から発言したかと思うが、成果指標のマックスが100パーセントであるのに対し、目標値が20パーセントというのは低く感じるが、現状値を踏まえ、あまり大きな目標を設定できないという難しさがある。

その中で、教育環境の面では、鎌ケ谷市は、全小中学校のエアコンの設置や耐震工事など、他市より進んでいる状況かと思うので、市民にもっと情報発信し、PRしていけると良い。

(秋山委員長)

小中学校の施設整備は、鎌ケ谷市は進んでいる方であるが、校長先生の立場として、山田委員は何かあるか。

(山田委員)

市の独自の取組みとして、特別教員などは、とても助かっている。

これとは別に、福井県や秋田県では、学力が上がっている状況であるが、理由を調べたところ、三世代同居型の家族が多く、家庭学習をほぼ100パーセント実施している。

逆に本市では、そこまで家庭学習をやっていない子も多いので、三世代というのが、キーワードになってくると考える。今は共働き世代が多いが、おじいちゃん、おばあちゃんがいることで、安心して勉強も見てもらえるのだと思う。

今後は、ハードだけでなく、ソフトな部分も大事になってくる。

ソフト事業については、自治会の方に本当に助けていただいております、緑のベストを着て、交通誘導していただくなど、子ども達に安心感を与えている。

卒業生でも、外から戻り、実家の近くに住んでいる子も多い。

小中学校のときに、地域に愛情を持ってもらえると、市へ再び帰ってくることに繋がるので、今後そういう意識を持って、やっていきたいと思っている。

市内めぐりや、大仏、日本ハムファイターズ、市役所屋上の景色など、少しでも自分たちのまちを好きになってくれて、大人になって戻ってきてくれると良い。

(秋山委員長)

日本でも観光立国として力を入れているが、子ども達が良かったと思えるまちにしていけると良い。

NO.9の意見で、鎌ヶ谷市は交通網が発達している中で、市への流入増加を目指すために、市だけでなく、鉄道会社との協力も必要かと思うが、新京成電鉄の小島委員としては、いかがか。

(小島委員)

弊社では、ホームページ上に特設ページを設けており、その中では、土地が安いや、買い物に便利などのPRをしている。

それらのキーワードは、ヤフーやグーグルで検索した時に上位にくるようになっており、特設ページに飛ぶようにしている。

どのような人が検索しているのか分かれば、これを検証し、いろいろPRできるかと思う。

(秋山委員長)

そのような取組みはとても重要であると思う。これからもリニューアルしていくことで、PRしていただきたい。

---

(秋山委員長)

それでは、続いて、第2回までの意見を踏まえ、市が修正した「人口ビジョン(案)」と「総合戦略(案)」について、資料2をもとに、市から説明いただき、これに対して、委員の皆さんに意見を伺いたい。

(市)

～資料2に基づき、修正案について説明～

(秋山委員長)

ただいま、市から修正案について説明があった、「人口ビジョン」は、委員の皆さんからの意見により、表現をより分かり易くした点など、7点あった。また、「総合戦略」では、目標値の数値の修正のほか、こちらも委員の皆さんから出た意見を踏まえ、新たな施策を2点追加したとのことである。

これら市からの修正案の説明を聞いた中で、何かご質問やご意見等あれば、お願いしたい。

総合戦略の修正のうち、NO.3は、多子世帯への子育て支援について、市でより充実化を図っていくとの説明であったが、これについて、子育てしているお母さんの立場として、子育て支援コーディネーターである榎本委員から、何か意見はあるか。

(榎本委員)

前回出た委員の意見を踏まえ、修正していただいて、大変ありがたいと思う。

今回追記した婚活事業の助成については、検討で終わらず、実施までできればと思う。船橋市の婚活イベントを手伝ったことがあるが、鎌ヶ谷市で結婚して、子育てに繋がるようになって欲しい。

子どもたちが大きくなった時、若い人が楽しめるイベントを開いていただけると良い。

それから、この前児童センターでお母さん方から聞いたこととして、鎌ヶ谷市では、ファミリー世帯向けのマンションがなく、他市に行ってしまうという意見があったので、住みたいと思える環境整備も大事であると思った。

(秋山委員長)

久能委員はいかがか。

(久能委員)

総合戦略の修正の中で、多子世帯への支援事業として、一時保育利用料の減免等を実施していくとの説明であったが、修正案では、保育料等の軽減となっており、減免と軽減では印象が違うと感じたが、いかがか。

(斉藤健康福祉部次長)

事業の内容によって異なるが、表現については、再度整理したい。

(秋山委員長)

労働の立場として、倉島委員は、何か意見はあるか。

(倉島委員)

新聞で、労働人口の4割が非正規社員との報道があった。

日本労働組合総連合会（以下、「連合」）でも、全国で1,000万人、千葉でも20万人を目標としているが、20数年前に立ち上がった時、700万人だったのが、今では、650万人まで減少している。

当初はほとんど100パーセントが正規社員であったが、650万人の内、非正規社員の組合員が増えている。

この総合戦略について、全国的に取り組んでいるかと思うが、連合として呼ばれているのは、東葛8市のうち、鎌ヶ谷市、松戸市、流山市の3市しかない。連合としても、もっと声を上げていかないといけないと感じている。

鎌ヶ谷市でも今後雇用の創出を目指していくこととなるが、例えば、イオンが建設された時は、当初2,000人の雇用が見込めるとの話であったが、その内正規社員は一握りであり、あとは非正規社員となっている。

連合の立場として、意見を言うのはとても難しい問題であるが、一人の成人として、3回参加した感想は、とても有意義な会議であったと感じている。

鎌ヶ谷市は、とても真面目に取り組んでいると感じた。

(秋山委員長)

皆さんには、それぞれ3回出席いただいて、意見交換出来たことは、とても良かったと思うし、感謝したい。

---

(秋山委員長)

それでは、最後に次第の3「今後の進め方について」に進みたいと思う。

本日で、「人口ビジョン(案)」と「総合戦略(案)」に対する意見交換は終了となるが、“今後のスケジュール”や、“総合戦略策定後の各取組みの推進方法”について、市から説明をお願いしたい。

(市)

～「策定までの今後のスケジュール」及び「総合戦略策定後の各施策の推進方法」について説明～

(秋山委員長)

総合戦略は、策定することがゴールではなく、この戦略に書かれた各施策をきちんと実施していくことが、大切である。

また、実施しただけでなく、毎年度、設定した成果指標を元に振り返りをし、見直しをかけていくことも、とても重要なことであるかと思う。

その中で、市だけでなく、我々委員もこの検討委員会を通じて、毎年度ごとに、総合戦略で掲げられた各施策の成果目標の達成状況を確認しながら、一緒に取り組んでいくことが大きなポイントになるのだと思う。

今市から説明があった「今後の進め方」について、何かご質問、ご意見等があれば、お願いしたい。

(久能委員)

PDC Aサイクルについて、総合戦略の55頁により説明があったが、今後のスケジュールとして、今話があった、「年度ごとに施策をチェックしていく」、「検討委員会を開催する」など、どこで見直しをしていくのかが、総合戦略内に標記されていると、見る人にも本気度が伝わるのではないかと思ったが、いかがか。

(市)

貴重なご意見であり、検討していきたい。

(秋山委員長)

総合戦略は作成するだけでなく、きちんと振り返りをし、改善していくことが重要になってくるかと思う。

---

(秋山委員長)

それでは最後に、次第の4「その他」について、事務局から何かあるか。

(山崎総務企画部参事)

この度は、秋山委員長を始め、委員の皆様には、お忙しい中、「人口ビジョン」及び「総合戦略」の策定にあたり、市の計画の詳細にわたって、ご検討いただき、感謝申し上げます。

委員の皆様からは、各分野の専門的な視点や広い分野の観点など、貴重なご意見をいただき、計画も具体的かつ実践的な計画となった。

また、PDCAサイクルについてもご意見があったが、策定することがゴールではなく、各施策をきちんと実施して、効果が現れているか、皆さんと振り返っていくことが重要であると思う。

策定に係る検討は本日をもって、いったん終了となるが、この後も委員の皆さんとは、施策ごとに設定した成果指標の目標値の達成状況について、確認をお願いしていかなければならないと考えている。

委員の皆さんには、本市の進捗を見守っていただくとともに、今後も忌憚のない意見やアドバイスをいただければと思う。

策定にあたって、お礼を申し上げますとともに、今後もよろしくお願ひしたい。

(秋山委員長)

了解した。

それでは、これをもって議事を終了し、本日の会議を終了する。

以上で会議は終了した。



会議録署名人の署名

以上、会議の経過を記載し、相違ないことを証するため次に署名する。

平成27年12月14日

氏名

久能 剛一

---

氏名

片桐 博子

---